

# 湖南省都市計画マスタープラン第5回策定委員会 議事要旨

日 時：令和8年5月13日(水) 10:00～

場 所：サンライフ甲西 大ホール

## 開会

都市建設部次長あいさつ

### 協議事項「(ア) 第4回策定委員会以降の追加・修正内容について」

- ① 第4回策定委員会でのご意見を踏まえた追加・修正内容
- ② その他の主な追加・修正内容

#### (意見)

・P47の中で、オレンジ色の計画的開発誘導区域があるが、今は2車線であるが、4車線化というのは国から示されているのか。2車線のままで開発を誘導して施設が張り付き、4車線化できないということはないのか。

⇒国道の4車線化については毎年要望しており、基本的に細心を払っている。施設が張り付いて4車線化ができないということがないように進めている。(事務局)

・地域の実情を書くのもマスタープランの役割だと思う。具体的なことを言うと、石部地域は南北に高低差があり、上流で雨が降れば一挙に水が入り込んでいる。そういう地形を考慮した浸水対策、そういうことを書くのがよいのかということもあると思うが、私は書いてほしい。そういうことをそれぞれの地域の計画の中に盛り込んでほしい。

⇒基本的に雨水に関しては、所管課が計画を持って整備を実施すると思う。都市計画マスタープランは大きな内容を記載しており、今のような具体的なところについては、少し検討させていただきたい。(事務局)

### 協議事項「(イ) 第4章 計画の実現に向けて」

- ① 地域が主体となる都市づくり
- ② 都市づくりの進め方
- ③ 計画の成果・進捗の管理と見直しの方針

#### (意見)

・スケジュールやどこが主体になるのか、市のどういったところが関わっているのか、そういうことがわからない。このマスタープランに書くのかどうかは別として、まちづくりを進めていくためには、具体的にどうしていくのかが見えるような表現も必要ではないかと思う。

⇒このプランに具体的な内容を書くということはしないが、最終的には小規模多機能自治というところが目標になり、湖南省の全ての課が関係してくることになる。基本的に、全ての事業が都市計画マスタープランに基づいて進めていくことになる。個別具体については様々あるが、中長期的には全ての課に関係していると思っている。(事務局)

⇒個別のことについては調整して進めていただくということになるが、例えば、P120の計画の進捗管理のところ、「関係部局が連携しながら…進捗状況の確認…課題共有…推進」とあるが、

タイムラインについては可能であれば示した方がいい。目標に対する進捗も変わってくると思う。(委員長)

- ・「2-2都市づくりの基本目標」にも「多様な人財の参画と協働による都市づくり」とあり、人材育成が重要であるので、そこについてもう少し書かれているとよい。

⇒全ての人に、自分のこととして関わっていただくというような文言がどこかにあってもよい。

入れるとすれば4-1の「(1)湖南市版小規模多機能自治の推進」の中だと思うが、皆さんに参加しようと思っていただくための仕掛けづくりなどについて、加えることができるのであればお願いしたい。(委員長)

- ・今、区・自治会の加入率が悪い中で、小規模多機能自治を目指しているというこのマスタープランは、関わる人の顔が見えないと思った。市街化区域の編入の計画は伺ったが、高齢化等で担い手が本当にいない中で、整備について市民の意識が変わるような仕掛けづくり、まちづくりをしなかったら、10年後、次に改定するまで誰がこれを進めていくのかと思う。関わる人が見える、笑顔が見えるまちづくりにしていただきたい。

- ・駅について、甲西駅を中心として石部と三雲が支えるという形になっているが、発展する可能性というか、甲西駅中心ではなく各駅それぞれの機能を充実していくのが必要だと思う。

⇒甲西駅が中心になるというのは、甲西駅周辺に市役所等を集約しているので、そういう言い方をしているが、石部と三雲をないがしろにしているわけではない。現在、三雲駅南側の市有地について、用途地域のあり方や整備の仕方を検討しながら活用していきたいと考えている。また、甲西駅周辺というのは、庁舎の建て替えの絡みで、全体的にその周辺整備をやっていこうということで動いている。そういう意味で、甲西駅周辺という表現になったが、当然、石部駅や三雲駅も甲西駅と同じような位置づけであり、本市の基幹であるJRとしての一次交通、それとこの駅と連結した二次交通、コミュニティバス、企業の通勤バス等もあり、基本的に重要だと考えている。(事務局)

- ・P122の分野別の指標の土地利用の方針の中に「居住誘導区域内の人口密度」の指標があるが、P32には「将来の市街化区域の人口密度⇒現在の密度の維持を目指す」となっています。指標の中に「市街化区域内の人口密度の維持」を入れる必要があるのではないか。

⇒居住誘導区域と市街化区域のどちらについても人口密度は維持していくという考え方であり、両方の人口密度を記載する方向で検討したい。ただし、他の指標は参考値ということで他の計画による目標値を載せており、ここの書きぶりについては検討させていただきたい。(事務局)

⇒立地適正化計画の居住誘導区域の人口密度の目標値が38.7人/haとなっており、最初はそれを都市計画マスタープランの目標値にするという話もあったが、そもそも目標値が現状より2割減るというもおかしな話であるので、その辺との整合を図り都市計画マスタープランとしての目標値を設定していくプロセスが必要になる。本来ならば市街地全体の人口密度よりも居住誘導区域の人口密度がある程度高くなり、そのあたりの考え方の整理も必要になってくる。(委員長)

- ・P117 駅周辺整備のところ、  
「3駅周辺の役割分担により、市全体の利便性と持続可能性を高

めます。」ということで、下に図が書いてある。甲西駅周辺については「市全体の中心的な拠点と位置づけ、」と書いてあるが、図を見ると赤丸にはなっているが、中心とは感じられない。市として何がしたいのか。私は中心市街地整備というのは甲西駅周辺からだと思っている。もっと市としての夢と希望をもった文章の書き方ができるとよいと思う。

⇒もう少し強く表現することができないかについては、一度持ち帰って検討したい。(事務局)

#### その他

##### 今後のスケジュール

本日の修正を反映した素案により、6月中旬頃から約3週間パブリックコメントを予定している。パブリックコメントで募集した内容を受けて、大きく修正の必要がある場合には、7月中旬以降に第6回目の策定委員会を開催する可能性があるため日程調整をさせていただきたい。なお、パブリックコメントの内容によっては、開催は中止、または書面開催にさせていただく可能性もあり、その場合は、開催予定日の1週間前を目途に連絡したいと考えている。また、第6回目の策定委員会が最後の委員会と想定しており、その後は、8月に都市計画審議会での計画の答申をいただき、9月議会に計画案を上程したいと考えている。(事務局)

実質的には本日の委員会が皆様から意見をいただく最後になる。先ほどいくつか修正事項があったが、差し支えなければ、事務局と私の方で相談させていただいて、案を確定したいと思うが、皆様、それでよろしいか。(委員長)

→全員承認

閉会